



電子黒板入りました

これまで中学校、ろう学校、養護学校に配備されていた電子黒板が全小学校にも導入され、本校でも各教室に設置されました。あわせて1人1台端末(クロームブック)も更改され、子ども達の手に届いています。

電子黒板は、教科書や写真、図、動画などを大きく映し出すことができる機器で、子ども達が学習内容を見やすく、分かりやすく学ぶために役立ちます。これまでの黒板の活用に加え、必要な情報をその場で



電子黒板

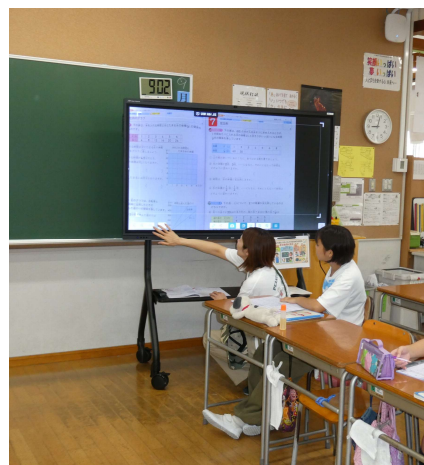
示したり、視覚的に確認したりすることができるため、子ども達の理解を助け、学習への意欲を高めることが期待されます。

今後は、さまざまな教科の授業で活用していく予定です。例えば、算数では図形や計算の仕組みを大きく映して考えを整理したり、国語では文章や登場人物の関係を見ながら読み深めたり

することができます。理科では実験の様子や写真を見ながら観

察を深めることができ、社会では地図や資料、映像を通して学習内容への理解を広げることも考えられます。また、子ども達が自分の考えを発表したり、友達と意見を交わしたりする場面でも活用でき、学び合いをより充実させていくこともできるかもしれません。

電子黒板はとても便利な機器ですが、大切なのはそれを使って子ども達の学びをどう豊かにしていくかだと考えます。これまで大切にしてきた、黒板に書いて考えること、ノートにまとめること、友達と話し合うこと、クロームブックで必要な情報を収集することなども



引き続き大切にしながら、電子黒板を上手に取り入れていきます。

子ども達が「わかった」「できた」「もっと学びたい」と感じられるような授業づくりを、これからも進めていきたいです。

ひやり！ ハチの巣撤去

先日、マチコミメールでお伝えしましたように、本校通学路においてコガタスズメバチの巣が確認されました。これを機にインターネットでこのハチについて調べてみました。

コガタスズメバチは、オオスズメバチに似た外見をしています。住宅街や庭木、生け垣、軒下など、身近な場所に巣を作ることがあるそうです。体色は黄褐色と黒のしま模様で、働きバチは約 20～27mm、女王バチは約 25～30mm。5～6月頃から巣を作り始め、夏以降は球状に大きくなっていきます。活動が活発になるのは、主に7月から10月頃です。



コガタスズメバチを含むスズメバチ類は、昆虫などを捕食し、自然界では害虫を減らす役割も担っているそうです。一方で、巣に近づいたり刺激を与えたりすると、防衛のため攻撃することがあります。見かけた際には、近寄らず、刺激せず、静かにその場を離れることが賢明です。

発見翌日には子ども達の安全を最優先に、専門業者が巣の撤去をしてくださいました。撤去した巣については、自然の生き物について学ぶ機会とし、学習資料として2階視聴覚室前のガラスケース内に展示しています。

今回、子ども達がハチに刺される被害がなくほっとしていますが、今後も引き続き、子ども達の安全確保に努めていきたいと思っています。

